

2014年(平成26年)2月14日 金曜日

# 東北の生の声毎週放送

## 海の幸PRや復興現状紹介

京都市中京区のコミュニティーFM局「京都三条ラジオカフェ」(79・7がっ)が1月から、東日本大震災後に開局された宮城県女川町の臨時災害放送局「女川さいがいFM」の番組を放送している。若手の水産加工業者らが製品の魅力や復興の現状を紹介する。地域FM局が連携し、被災地の生の声を電波に乗せて届けている。

女川さいがいFMは、震災後に各地で設けられた臨時放送局として2011年

### 三条ラジオカフェ

4月に開局。ライフライン情報や住民のインタビュなどの番組を町民に届けている。

町外にも実情を知ってほしいと、12年12月から全国のラジオ局に番組「かこうけんラジオ」を無償配信している。昨年10月に東京で開かれたシンポジウムで京都三条ラジオカフェと女川の関係者が知り合ったことを機に京都でも1月から放送を決めた。

かこうけんラジオは、若手の水産加工業者でつくる

女川水産加工研究会がパーソナリティーを務める。加工品の紹介や旬の魚の情報、被災地の状況などを紹介する。新聞記事を基に、復興に対する地元住民の考えを語りあう。「悲壮感は漂わせず、居酒屋風の明るいつい雰囲気」をモットーにしている。

京都三条ラジオカフェでは毎週水曜午後7時から30分間「被災地支援ラジオ」内で放送している。時岡浩

## 女川のFM局と連携



宮城県女川町の水産業者が語りあうラジオ番組「かこうけんラジオ」の収録風景—女川さいがいFM提供

めの放送局だが、震災以降は外に向けた意識が高まっている。被災地のほかのラジオ番組も機会があれば放送し、東北の声を直接流しMでも聴ける。(山下悟)